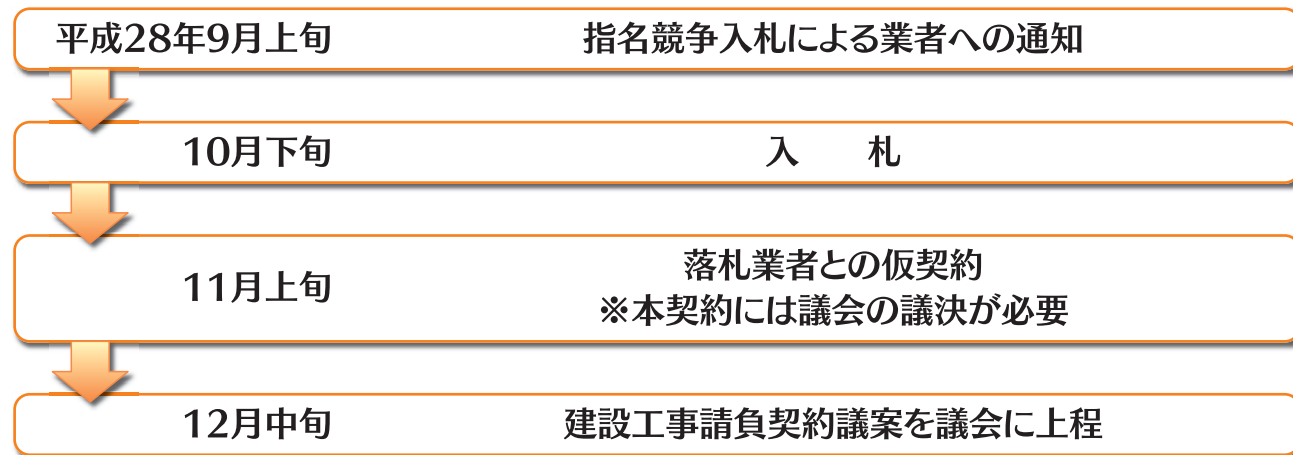


建設工事契約までのスケジュールについて



カセットガスボンベ・スプレー缶等 ごみの出し方のお願い

8月12日に塩谷広域環境衛生センター粗大ごみ処理施設内で、カセットボンベが原因と思われる爆発事故が発生しました。事故に伴い処理設備が破損し、不燃・粗大ごみの処理が出来なくなっています。

カセットガスボンベ・スプレー缶等を不燃ごみに出す際には、適切な処理を行わないと火災や爆発事故の原因となり大変危険です。次のルールを厳守されますようお願いいたします。

中身の有無を確認しましょう!

振って中の音を聞いてください。
中身のガスが残っていると「シャカシャカ」と音がします。

中身を使いきりましょう!

スプレー缶等は、必ず使いきってから穴をあけて出してください。
(缶に穴をあける際には、火の気のない広い場所で行い、十分に注意してください。)



※写真は穴あけの例です。

「ニュースレター」及び「ごみ処理行政」に対するご意見・ご提案をお気軽にお寄せください。また、塩谷広域行政組合施設整備室のホームページも開設しております。

※ホームページアドレス <http://www.shioyakouiki.or.jp/>

問い合わせ先

塩谷広域行政組合 〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地1
施設整備室 印南、村本、斎藤、横塚
施設整備推進グループ 河野、阿久津、関、増淵

TEL 0287-48-2760 FAX 0287-48-0463 e-mail shioya-kanri@gamma.ocn.ne.jp

しおや広域 環境施設整備

ニュースレター

No.21 平成28年10月

次期環境施設(ごみ処理施設)の 設計・建設を行う業者の 入札手続きを行っています

○入札について

9月上旬に、指名業者のプラントメーカーに対し、指名競争入札を行うべく、入札関係書類を送付しました。

指名業者の選考については、**安心・安全を最優先に考え**、当組合の事業規模と同程度の実績を多数有しているプラントメーカー3社を指名いたしました。

今後については、10月下旬に入札を行う予定であります。

当組合としては、現有施設の稼働期限である平成30年11月30日を遵守できるよう最大限努力してまいります。

TOPICS

- これまでの経緯について ...2P
- 施設整備内容の見直しについて ...3P
- 建設工事契約までのスケジュールについて ...4P
- カセットガスボンベ・スプレー缶等ごみの出し方のお願い ...4P

これまでの経緯について

年月	内容												
平成27年 12月	平成27年4月に入札公告を行い、事業者選定委員会により選定された、次期環境施設の設計・建設・運営を行う事業者について、正副管理者会議において落札者として決定した。												
平成28年 2月	落札者との契約に伴う建設工事請負契約議案が広域議会で 否決された 。 広域議会での否決及び2市2町の議員有志から「今後の対応に関する要望書」の提出を受け、正副管理者会議において、次期環境施設について検討するため、2市2町の職員で構成した プロジェクトチーム を設置することとした。												
4月	施設整備室内にプロジェクトチームとして、 施設整備推進グループ を設置した。												
5月	専門的な技術を有する コンサルタント に、次期環境施設の主要条件の検討を行うための 業務を発注した 。												
7月	再入札に向けて主要条件である事業方式、入札方式、発電設備の有無について検討を行い、正副管理者会議及び広域議会において、下表のとおり決定した。 <table border="1" data-bbox="502 1406 1237 1583"> <thead> <tr> <th></th> <th>前回</th> <th>今回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業方式</td> <td>DBO方式</td> <td>DB+O方式</td> </tr> <tr> <td>入札方式</td> <td>総合評価一般競争入札</td> <td>指名競争入札</td> </tr> <tr> <td>発電設備</td> <td>設置無し</td> <td>設置有り</td> </tr> </tbody> </table>		前回	今回	事業方式	DBO方式	DB+O方式	入札方式	総合評価一般競争入札	指名競争入札	発電設備	設置無し	設置有り
	前回	今回											
事業方式	DBO方式	DB+O方式											
入札方式	総合評価一般競争入札	指名競争入札											
発電設備	設置無し	設置有り											
8月	ごみ処理施設及びリサイクル施設整備に係る設計・建設費 125億円 の予算を広域議会において可決した。												
9月	設計・建設を行う業者選定の 入札手続きを開始した 。												

施設整備内容の見直しについて

平成28年2月9日広域議会において建設工事請負契約が否決されたことに伴い、次期環境施設の建設工事再入札に向けて、主に以下の検討を行いました。



○事業方式

これまででは設計 (Design)、建設 (Build)、運営 (Operate) を一括して発注する DBO 方式を採用していましたが、当組合においては現施設の稼働期限が**平成30年11月30日まで**と迫っている中で、何とか稼働期限までに次期施設を建設しなければならないということを踏まえ、発注の段階で運営部分を切り離して考えることで、運営部分の詳細を検討する期間の短縮が図れる**【DB+O方式(長期包括運営業務委託)】**を採用することとしました。

○入札方式

DBO 方式による入札では、事業者には施設の整備、運営に関する専門的な知識やノウハウが求められ、「価格」の他に「価格以外の条件や要素 (施設の品質や施工方法等)」を評価の対象に加えて事業者を選定する総合評価落札方式を採用していましたが、しかしながら、当組合の状況を鑑みると、**業者決定までの期間をできる限り短縮することが最優先事項**であることから、最も期間が短縮できる入札方式である**【指名競争入札】**を採用することとしました。

○発電設備の有無

発電設備の導入検討にあたっては、発電設備導入に要する費用と発電量相当の電力を購入した場合の費用を比較し、**費用対効果の検証を行いました**。その結果、発電設備を導入することで費用対効果が見込めると判断し、**【発電設備を導入する】**こととしました。また、近年の技術向上により、施設規模が100t/日程度の施設においても、他自治体の事例では発電設備を導入しているケースが多い状況であります。

○予定価格

前はプラントメーカーからの見積もりを基に予定価格の積算を行っていましたが、今回はプラントメーカーの見積もりとともに、他自治体の同規模程度の施設建設に伴う契約実績を参考に、**より客観的なデータも用いて予定価格を積算しました**。